

R・Flagプロジェクト通信



NPO法人成年後見センターかけはし 神奈川県大和市柳橋2-1-26ウイングシバタ102
 HP : http://www.kakehashi-tomoni.org/ E-mail: info-kakehashi@galaxy.ocn.ne.jp
 TEL : 046-244-5551 FAX : 046-244-5534

独立行政法人福祉医療機構
 WAM助成 社会福祉振興助成事業

第5回 かけはしWAM助成事業 総勢12名の講師・熱い想い

11月9日(土)・10日(日)・16日(土)・17日(日)の4日
 間にわたり眞実福祉会法人会議室にて「知的障がい者・
 発達障がい者のための後見人養成講座」を開催しました。

NPO法人成年後見センターかけはしは「WAM助成事業」の第五弾として、今年度初週にわたり、成年後見の活用促進を目的に本研修会を行いました。

当日は、生活支援事業所、グループホームなどの福祉施設職員、知的障がい、発達障がいのある子の親など延べ39人が参加しました。

1週目(9日・10日)



・第1日目の基調講演は当法人代表理事、小川肇氏。

少林寺拳法正範士八段である小川氏の講演は、少林寺拳法から学ぶ人の生き方のお話。「人生は理知と慈悲の調和の繰返し



県央福祉会利用者さんの素敵な絵を表紙にした冊子体のテキスト



・2日目午前のは、障がいのある人の住まいについてのお話。横浜総合リハビリテーションセンター・一級建築士、西村頭氏が登壇。発達障がいのある子の家のリノベーションの事例として実に沢山の写真と動画で、各々の状



況に合わせた目から鱗の工夫を見せて頂きました。それは単なる対処ではなく沢山の話し合いと相談を重ねて安全対策と行動保障が成された意味のある場所。そこに西村氏のセンスが掛け算され素敵な空間になるのでは。午後後の部は昨年度大好評だった山梨英和学院大学大学院教授、小林真理子氏。本人の生きにくさ・生活のしづらさに対して支援者としてできることは何か、のお話でした。小林氏は、支援者と発達障がい者は共に成長していく。本人が少しでも元気になるように、その生きにくさや不適応感の要因を探ろう、と述べた。

「真の理解者を見つけ出すには？」との質問に「自分はこの立ち位置にいるの？支援者？それとも親？良い支援者を探さず、ではなくあなたがなりなさい」と。第2部のグループワークもひたひたまで小林氏の頼もしく力強い言葉に、様々な立場である参加者は皆、明日に続く新たな活力をもらいました。



・大和市役所障がい福祉課、内田洋輔氏は、市の障がい者サービスについて具体的なお話を沢山の質問で分かり易く説明してくださりました。

・大和統括園長、目黒裕氏は、親亡き後を意識した一貫的な支援体制のもと、ライフステージに合わせた支援と成長段階に合わせた支援を行ううしらかし会の活動のお話をされました。

・大和精神・発達障がい者支援ステーション、あがしの所長、西岡秀樹氏は、あがしの就労移行支援について多彩なパワーポイントを使い、継続して安定的に働く力をつけるための取り組みを講演してくださりました。

・ふじさわ爽風舎所長、柴田琢氏は、共に働く職員と想いをひとつにして精力的に活動されている柴田氏の語りから参加者を魅了しました。

2週目(16日・17日)

2週目は、行政や大和市の社会福祉法人の事業所長などをお呼びいただき様々なお話をさせていただきました。

・アイネットやまもと所長、佐野加代子氏は、法人事業所との関わりなどについてお話しされました。それは、いづれ離れて暮らす子はいずれの方法をお手伝いしていきたくとも、柔軟かな口調の中にも力強さを感じた内容でした。

・大和市社会福祉協議会、岸田浩子氏は、自立支援事業「日常生活の様子を見せたい」という思いから、岸田氏は「個別に支援だけではなく色んな人に障がいがあってもステキな人。近くの人がちよつと気にかけて手を差し伸べる、これが大事なことです」と爽やかな笑顔で講演を締めくくりました。

・大和市役所障がい福祉課、内田洋輔氏は、市の障がい者サービスについて具体的なお話を沢山の質問で分かり易く説明してくださりました。



・第3日の木本ム所長、大越由喜彦氏は、利用者の生活を広げる工夫や選択のバリエーションが狭まらないうえに、利用者が楽しそうな笑顔が、とても楽しそうに話されています。

・アイネットやまもと所長、佐野加代子氏は、法人事業所との関わりなどについてお話しされました。それは、いづれ離れて暮らす子はいずれの方法をお手伝いしていきたくとも、柔軟かな口調の中にも力強さを感じた内容でした。

・大和市社会福祉協議会、岸田浩子氏は、自立支援事業「日常生活の様子を見せたい」という思いから、岸田氏は「個別に支援だけではなく色んな人に障がいがあってもステキな人。近くの人がちよつと気にかけて手を差し伸べる、これが大事なことです」と爽やかな笑顔で講演を締めくくりました。

次回12月14日土の研修会まで本年度事業は最終となります。

